

会 議 録

会議名	令和4年度 第4回 大野北地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)	中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512			
開催日時	令和4年8月30日(火) 18時30分~20時00分			
開催場所	大野北公民館 大会議室			
出席者	委員	18人 (別紙のとおり)		
	その他	6人 公民館長代理 都市計画課長、他4名		
	事務局	2人 まちづくりセンター所長、同主査		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 2人
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由				
会議次第	1 あいさつ 2 議 題 (1) 淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて ア．市民検討会の検討経過について イ．オープンハウスについて (2) まちづくりを考える懇談会のテーマについて 3 出席委員からの情報提供 4 その他 (1) 次回日程について 5 閉 会			

審 議 経 過

1 あいさつ

山口会長よりあいさつ（以後進行は山口会長）

2 議 題

○は委員の発言、 △は役員の発言、 □は事務局の発言

(1) 淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて

ア．市民検討会の検討経過について

イ．オープンハウスについて

都市計画課より市民検討会の経過とオープンハウスの実施内容について、当日使用予定のパネルを用いて説明した。

パネルは全部で8枚、内訳は全体説明が2枚、「まちづくりWG」に関するものが2枚、「公園WG」に関するものが3枚、「公共施設WG」に関するものが1枚。

<全体についての説明パネル> 都市計画課

1枚目

「淵野辺駅南口周辺の公共施設等の立地状況」として、淵野辺駅南口周辺の公共施設の基本情報や施設の課題などを説明。

2枚目

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりの取組について」として、オープンハウス実施までの取組を説明。

- ・平成20年5月 大野北地域 まちづくり提言
- ・平成23年～ 大野北地区 まちづくり懇談会による意見交換
- ・平成29年12月 淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）公表
- ・平成31年3月 市民検討会、有識者協議会 立ち上げ
- ・平成31年3月～令和3年12月 第1回～第15回 市民検討会の開催
「鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用し、再整備を行う」とまとまった。
- ・令和4年3月～令和4年8月 第16回～第22回 市民検討会の開催
3つのワークグループに分かれて検討を行った。
「まちづくりWG」では、まちづくりのコンセプト、街中の動線などを検討
「公園WG」では、必要な機能、施設のゾーニングなどを検討
「公共施設WG」では、機能の組み合わせ、配置、エリアマップなどの検討

<まちづくり WG についての説明パネル> 都市計画課

1 枚目

「淵野辺駅南口周辺が目指していくまちづくり」として、町全体がウォークアブルパーク ~人・活動・居場所がゆるやかにつながる~ 「ちょうどイイまち・淵野辺」をキャッチコピーとした場合に、大切な視点は何か、まちづくりのコンセプトは何かを説明。

2 枚目

コンセプトについて、まちづくり WG で必要と考える 8 つの「まちづくりの取組」のうち、どの取組を重視したいかオープンハウスで市民の方から意見をお伺いする。

<公園 WG についての説明パネル> 公園課

1 枚目

「鹿沼公園のゾーニングイメージについて」として、複合施設の位置を「北西案」「池北側案」「正面案」とする 3 案があり、それぞれの案について既存施設の存続・廃止について説明。

2 枚目、3 枚目

現在の公園のゾーニング、3 案の複合施設の位置のゾーニングを図示し、各ゾーニングの強み、弱みを説明し、どの位置案を選択するかオープンハウスで市民の方から意見をお伺いする。

<公共施設 WG についての説明パネル> 生涯学習課

1 枚目

複合化される施設をエリアマップとして具体的に説明。
エリアは大きく三つの「賑わい空間エリア」、「活動空間エリア」、「静かな空間エリア」に分けられる。そのエリアに、複合施設の 5 つの魅力ポイントを配置した。オープンハウスで市民の方が、“いいね”と思える魅力ポイントを選んでもらう。

<質疑応答> 都：都市計画課、公：公園課、生：生涯学習課

○オープンハウスでの説明は多言語に対応しているか。

都：実施のお約束はできないが、対応できるか検討します。

○現状は道路が狭くて危ない、道路についてはどのように対応するのか。

都：市民検討会のワーキングでも道路事情は課題と認識している。

混雑緩和のアイデアとして、交差点信号機の時間調整、時間帯での交通規制などを考えるが、オープンハウスにおいても市民の方からアイデアをお伺いできればと考えている。

施設再編後には人の流れが変わるので、施設再編後になるが交通環境については継続して考えて行く必要があると考えている。

○情報が多くて分かりにくいと感じる。初めて見た人はその場では判断できない。ホームページには事前に掲載されるのか。

生：事前に掲載できるのかは未定だが、掲載はする予定である。

○情報が一方通行になっている。話が具体的になった頃に、まちづくり会議と情報のキャッチボールをしてほしい。地元の要望を聞いてほしい。

都：地域の方々との意見交換は必要と考えている。

○まちづくり会議での意見も取り入れてもらえる機会をつくってもらいたい。まちづくり会議の委員の方には是非、オープンハウスに参加していただきたい。

都市計画課より、オープンハウスの実施について委員へ周知の依頼がされた。

(2) まちづくりを考える懇談会のテーマについて

事務局より、前回の意見を踏まえて訂正した懇談会のテーマを説明し了承された。

3 出席委員からの情報提供

麻布大学より市民講座「動物と人の健やかな未来へ」の紹介がされた。

4 その他

(1) 次回日程について

次回は、令和4年9月27日(火)午後6時30分から開催予定と事務局から報告。

6 閉会

小川副会長が閉会

以上

令和4年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者名簿

	氏名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	出
		大野北地区社会福祉協議会	
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	出
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	出
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	出
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	出
6	小川 紳夫	大野北公民館	出
7	田加井 政男	交通安全協会	出
8	長谷川 文代	大野北地区交通安全母の会	出
9	岡 純正	大野北地区老人クラブ連合会	欠
10	安藤 貴光	相模原市消防団中央方面隊第三分団	欠
11	佐久田 ロサマリア	さがみはら国際交流ラウンジ運営機構	出
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	出
13	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	欠
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	出
15	岡部 尚紀	小学校	欠
16	古屋 礼史	中学校	出
17	安部 智	小・中学校PTA	欠
18	三條 久美子	青山学院大学	欠
19	山岸 優之	桜美林学園	欠
20	白石 一郎	麻布大学	出
21	宮津 敏信	ボランティアグループ	出
22	伊藤 憲秀	大野北第1地域包括支援センター	出
23	加瀬 剛広	大野北第2地域包括支援センター	出
24	森光 雄一郎	にこにこ星ふちのべ商店会	出
25	櫻内 康裕	淵野辺駅南口商栄会	欠
26	玉城 洋	相模原市農業協同組合淵野辺支店	出

令和4年度 第4回大野北地区まちづくり会議

日 時 令和4年8月30日(火)
午後6時30分から
場 所 大野北公民館 大会議室

次 第

1 あいさつ

2 議 題

(1) 淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて

ア. 市民検討会の検討経過について

イ. オープンハウスについて

(2) まちづくりを考える懇談会のテーマについて

3 出席委員からの情報提供

4 その他

(1) 次回日程について

日 時 令和4年9月27日(火) 午後6時30分から

場 所 大野北公民館 大会議室

以 上

大野北地区まちづくりを考える懇談会テーマ

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを選定する(原則一つ)。

現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。

今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

テーマの概要・内容

概 要	公共施設の再整備と淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて
内 容	<p>淵野辺駅南口周辺のまちづくりにおける公共施設の再整備については、大野北地区のみならず本市の人口の流入増を図る上でも、将来を見据え、特に、政令指定都市に相応しい取り組みの必要性からも、地域住民ひとりひとりに対してやさしい複合施設としての整備が課題であると考えます。</p> <p>平成30年度に策定した「大野北地区まちづくり会議報告書」においても、「各施設の老朽化が進行している」ことの現状の認識と、「公共施設の複合化による都市型の機能をそなえた、幅広い世代が活動することができる場を創出する」ことの必要性を提言した経緯がある。</p> <p>さらに、現在も継続開催されている「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」(以下、「市民検討会」)では、『公共施設』『公園』『都市基盤(まちづくり)』の各部門において、多くの検討が行われていることは承知しており、昨年度のまちづくり会議では、市の関係部署から市民検討会の検討経過について報告を受けるとともに、令和4年度中に基本計画を策定して、6年後を目途に複合施設の整備、移転完了との事業予定の説明があった。</p> <p>その席上、基本計画の策定にあたっては、まちづくり会議の意見、意向にも配慮して欲しい旨を市に伝えたところである。</p> <p>このような経過を踏まえると、大野北地区まちづくり会議が掲げる地域課題である「世代間交流で地域が活性化している状態」の実現に向け、スピード感を伴った実効性のある基本計画の策定を促すとともに、今年度の計画策定が、淵野辺駅南口周辺のまちづくりに係る、大野北まちづくり会議としての意見、要望が反映できる最後の機会と認識している。</p> <p>したがって、まちづくり会議における地域課題である「世代間交流」が、どのように基本計画の理念に反映され、具体的方策を盛り込んでいただけるのかを懇談の内容とさせていただきたい。</p> <p>また、公共施設の複合化後の跡地活用については、市民検討会において具体的に検討がなされていないと伺っているが、跡地活用は淵野辺駅南口周辺のまちづくりの一環で進めるべき事業であると考えているので、公共施設の複合化や鹿沼公園の再整備とともに取り組まれることをお願いしたい。</p>

地区の取組状況等

- ・平成30年度に「大野北地区まちづくり会議報告書」において公共施設の複合化を提言した。
- ・平成30年度、令和元年度・2年度の「大野北地区まちづくりを考える懇談会」で公共施設の再整備と老朽化対策をテーマとしている。
- ・令和3年度の第7回まちづくり会議において、「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」での進捗状況の報告を受け、世代間交流の実現に向けた意見や、基本計画の策定にあたっては、まちづくり会議の要望を反映して欲しい旨を伝えた。
- ・令和4年度の第2回まちづくり会議において、再度「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」の、その後の進捗状況の報告を受け、前回同様に意見、要望を伝えた。